



平成 26 年 8 月 8 日

各 位

会社名 片倉工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹内 彰雄
(コード番号 3001 東証第 1 部)
問合せ先 常務取締役経理部長 佐野 公哉
(TEL. 03 - 6832 - 0229)

平成 26 年 12 月期第 2 四半期累計期間における
業績予想値との差異に関するお知らせ

平成 26 年 2 月 14 日に公表した平成 26 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想値と実績値との差異

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	24,800	700	800	300	8円53銭
今回実績値(B)	24,280	1,087	1,412	758	21円58銭
増減額(B-A)	△520	387	612	458	—
増減率(%)	△2.1	55.3	76.5	152.6	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年12月期第2四半期)	24,875	1,229	1,573	997	28円37銭

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	7,800	200	300	200	5円69銭
今回実績値(B)	7,900	498	874	648	18円45銭
増減額(B-A)	100	298	574	448	—
増減率(%)	1.3	149.0	191.3	224.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年12月期第2四半期)	7,824	424	782	596	16円96銭

2. 差異の理由

連結については、売上高は若干の減収となったものの、営業利益は、医薬品事業で採算性の高い製商品の売上が増加したこと、不動産事業における一部費用の翌期以降への繰延を主として予想を上回りました。経常利益・四半期純利益は、固定資産処分損の増加はあるものの、営業利益の増益に加え、受取配当金の増加、支払利息の減少を主に予想を上回りました。

個別については、売上高は若干の増収となったものの、営業利益は、不動産事業における一部費用の翌期以降への繰延、トラック部品の増収による増益を主として予想を上回りました。経常利益・四半期純利益は、固定資産処分損の増加はあるものの、営業利益の増益に加え、受取配当金の増加、支払利息の減少を主に予想を上回りました。

なお、平成 26 年 12 月期通期業績予想については、現時点において、平成 26 年 2 月 14 日に公表しました業績予想に変更はありません。

以 上